

令和2年度琴清苑事業計画・収支予算(抜粋)

I 基本方針

令和に入り、元年度から始まった全面移転改築工事が本格的な工期に入っております。今年度中の完成に向けてさらなる努力を行っております。新しい施設への移行が約1年となりました。新しい施設は個別ケア中心のユニット的な構造に代わっております。個別ケアと小規模な区画に分かれたケアに変更していかねばなりません。新しいチームケアによるケアを提供できるように準備してまいります。また、1区画を認知症ケアに特化した区画とし、認知症ケアを確実に進めるように研修等に参加してまいります。

慢性的な人材不足につきましては、前年度質の高い外国人技能実習生の就労により、通常の業務のスムーズな流れが出来てまいりました。年末にはEPA介護福祉士候補生2名の就労が予定されており、かなりの人材不足の解消が図られると思われまます。引き続き職員確保のための努力は続けてまいります。

人材育成については、定年退職や施設の建て替えにより人材を交代していく時期が迫っております。定まった人員の中から適材適所を模索し移転までに業務の移行を行いながら新しい施設に対応できる人材配置を行っております。

今年度は改築移転のための準備期間の年度になります。必要な備品を計画的にそろえていき、業務がスムーズに進むように準備してまいります。それとともに、前年度終わりに流行した感染症に万全の対策を取りながら、利用者、職員が引き続き安全に生活していけるように各種対策を講じてまいります。

1 重点目標

(1) 業務内容の見直しの推進

- ・新しい施設へ向けて業務内容を変更し、個別ケアへ処遇内容の変更を行なってまいります。
- ・1フロアに4か所の拠点を置き、12名単位でのサービス提供になる事への準備を行なってまいります。
- ・各種シミュレーションを行ないながら2021年4月の移動に向けて準備を行なってまいります。

(2) 法人の理念である「心の福祉」の実践とチームワークの強化

- ・人間的なふれあいの中での処遇が実践できるようなケアプランを引き続き作成します。
- ・チームワークを強化しながら専門職としてのプロ意識の徹底を図り、質の高いサービスを提供します。

2 地域福祉サービス計画

(1) 災害時の相互応援協定の整備

自然災害や感染症発生時の給食等の相互援助協定を締結して災害等に備えてまいります。

(2) 大規模災害対策の強化

自然災害発生時に福祉避難所として地域に対して協力し、行政と連携を図り、災害発生時には二次避難所として施設を提供します。

3 年間施設整備計画

新しい施設に向けて今後使用していく備品を購入します。

※ 詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)	
勘定科目	琴清苑会計
事業活動収入計①	358,003,000
事業活動支出計②	357,467,000
事業活動資金収支差額③(①-②)	536,000
施設整備等収入計④	129,133,000
施設整備等支出計⑤	52,729,200
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	76,403,800
その他の活動による収入計⑦	54,000,000
その他の活動による支出計⑧	9,500,000
その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	44,500,000
予備費支出⑩	121,439,800
当期資金収支差額合計⑪(③+⑥+⑨-⑩)	0
前期末支払資金残高⑫	99,748,388
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)	99,748,388